# 第 7回総会

* **概要**

|  |  |
| --- | --- |
| 期間 | 2008-09-01 ~ 2008-09-04 |
| 開催地 | 中華人民共和国 > 山東省 |
| 開催者 | 中華人民共和国 > 山東省 |
| 参加 | ５カ国47自治体 |
| 中華人民共和国 | 黒龍江省、山東省、河南省、寧夏回族自治区、湖北省、湖南省、遼寧省(オ)、山西省(オ)、陝西省(非) |
| 日本国 | 富山県、兵庫県、島根県、新潟県、群馬県(非)、和歌山県(非)  |
| 大韓民国 | 釜山広域市、仁川広域市、大田広域市、光州広域市、蔚山広域市、京畿道、忠清北道、忠清南道、全羅北道、全羅南道、慶尚北道、慶尚南道、済州特別自治道  |
| モンゴル国 | ウムヌゴビ県、ダルハン・オール県、ゴビスンベル県、オルホン県、ウブルハンガイ県、ウランバートル市、バヤンホンゴル県、ボルガン県、アルハンガイ県、フブスゴル県、ドルノド県、オブス県、ホブド県 |
| ロシア連邦 | ブリヤート共和国、ハバロフスク地方、アムル州、サハリン州、トムスク州、トゥヴァ共和国、アルタイ地方 |

※オ：オブザーバー、非：非会員自治体

* **内容**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|

|  |
| --- |
| **▷2010 総会開催地 の決定 : 京畿道** **▷NEAR常設事務局の再任提案(慶尚北道) : 2012年まで NEAR 常設事務局を再任** |
|  |
| **▷ 海洋・漁業分科委員会の新設及びコーディネーター自治体の申請（山東省)** |
|  |
|

|  |
| --- |
| **▷ 観光分科委員会の新設及びコーディネート担当の申請(河南省)** **▷ 会費制提案(ハバロフスク地方) : 連合会費制は、連合事務局に委託する。連合事務局は、各国会員自治体から国ごとに一人の代表の推薦を受けて｢会費制度特別委員会｣を設立し、具体的な方策を検討してから、次回の実務委員会に上程し議論する。****▷ 連合新規会員の加入(5自治体)** |

 |
|  |

 |

* **山東宣言**

2008年9月1日から9日まで、中華人民共和国山東省において開催された北東アジア地域自治体連合第7回総会に参加した中華人民共和国、日本国、大韓民国、モンゴル国、ロシア連邦の５ヵ国40会員自治体は、次の共同認識の下、平和と繁栄の新たな北東アジア時代を拓いていくために共に努力する。

北東アジア地域自治体連合は、グローバル化時代の挑戦に応え、地域間の交流増進による共同繁栄を促進するため、1996年の創設以来、経済、環境、文化、防災、国境地区協力、科学・技術など多様な分野において、交流協力事業を展開し、目覚ましい成果を挙げてきた。

このような成果を礎に今回の山東省総会において｢革新的な協力による共同繁栄｣をテーマに、会員団体の信頼、互恵、共存の｢ひとつになる北東アジア｣の建設に関する幅広い議論が繰り広げられ、連合会員間の実務的な協力を増進し、連合の求心力と影響力を高める一方、平和と繁栄の北東アジアの建設に連合がより重要な役割を発揮することの認識を共有して次のとおり宣言する。

1. 連合は会員自治体間の相互支援と協力、そして積極的な参加により、信頼、互恵、共存の価値を共有する調和した北東アジアを建設する。

2. 連合は人的、物的、情報のネットワーク構築を通じた実質的で持続的な交流協力により、北東アジアの共同発展に努力する。

3. 連合は共同の平和と繁栄のため、会員自治体だけでなく非会員自治体の参加も歓迎する開かれた北東アジアの建設に努力する。

4. 連合は黄砂の発生と被害低減、地球温暖化対策など地球の環境問題に積極的に対処するため、環境に優しい施策を実施するなど持続可能な発展の実現に共に努力する。

5. 本総会においては、北東アジア地域の共同繁栄と連合の発展のために上程された議題について真摯な議論が行われ、次のとおり合意した。

 1) 2010年に開かれる第8回総会を大韓民国京畿道において開催することとする。

 2) 2012年9月まで次期連合事務局を引き続き大韓民国慶尚北道に置くこととする。

 3) 中華人民共和国山東省が提案した『海洋・漁業分科委員会』の新設を承認し、コーディネート自治体は山東省が担当することとする。

 4) 中華人民共和国河南省が提案した『観光分科委員会』の新設を承認し、コーディネート自治体は河南省が担当することとする。

6. 連合会費制については連合事務局に委託することとする。連合事務局は会員自治団体から各国別に１名の代表の推薦を受け、｢会費制度特別委員会｣を構成し、具体的な方策を検討した後、次回実務委員会に上程して議論するものとする。

7. 大韓民国仁川広域市、大田広域市、光州広域市、蔚山広域市とロシア連邦マガダン州の５自治体の新規加入を議決することとする。

北東アジア地域自治体連合会員自治体は相互協力により、上記の宣言及び合意事項を誠実に履行することを決議する。

2008年9月2日